

実務経歴証明書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

大分県知事
指定登録機関 殿

証明者 株式会社〇〇建設
代表取締役社長

登録 太郎

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町
〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

担当：(株)〇〇建築設計事務所 〇〇課 大分建治

電話番号：〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

免許申請者との関係

申請者が所属する法人の代表者

実務を把握している者
の名前を記入
(開設者が把握してい
る場合は不要)

下記の者が申請した 二級木造 建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

1 免許申請者氏名 建築 太郎

2 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 4 年 9 月

建築実務の内容：

※「実務経歴書」の内容と相違の無いよう記入する。→「実務経験の対象となる業務の内容」を全て記入します。

- (例) *●●邸増改築工事：専用住宅（木造2階建て、延べ面積150㎡）の新築工事において、建築一式工事の施工管理を担当した。
- *●●邸増改築工事：併用住宅（木造2階建て、延べ面積150㎡）の増改築工事において、建築一式工事の施工管理を担当した。
- *●●邸新築工事：併用住宅（木造2階建て、延べ面積150㎡）の新築工事において、大工工事の施工管理を担当した。（他 4件）
- *●●邸増改築工事：専用住宅（木造2階建て、延べ面積150㎡）の増改築工事において、大工工事の施工管理を担当した。（他 4件）

- 備考
- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成してください。
 - 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明してください。
 - 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。